

2023年度 学生満足度調査結果まとめ

1. 調査目的

本学学生の大学生活に対する満足度の現状を把握すると同時に大学生活の実態を調査し、今後の参考にするための基礎データとします。

2. 対象者

本学1～4年次全学生

3. 調査方法

昨年までは調査用紙を配付し回収していたが、今年度からは 구글フォームを用いてインターネットで回答してもらった。

4. 実施期間

1,2,4年生：9月29日の後期オリエンテーション時に実施

3年生：実習期間中9月～10月に実施

5. 結果

<回収率>

	昨年度回収率
1年生：93.1%（回答者41名/対象者44名）	98.6%
2年生：94.2%（回答者66名/対象者70名）	87.7%
3年生：77.9%（回答者53名/対象者68名）	71.2%
4年生：96.1%（回答者49名/対象者51名）	94.7%
合計：89.7%（回収数209部/対象者233名）	88.6%

<昨年度との変更点>

昨年は紙媒体を使用したが、今年は 구글フォームを使用。学生にはQRコードを読みとって回答してもらった。

I. 大学入学に関する満足度

(1) 入学した当時の満足度

- ・4学年合計で満足であると回答した学生は67.9%を占めており、本学への入学については概ね満足感を抱いている学生は多かったが、昨年度の83.3%より15.4ポイント減少していた。
- ・学年別では、1年生が最も高く82.9%であった。3年生の満足度（1年次81%、2年次71.8%）は52.8%と最も低くと年々満足度は減少している。

(2) 現在の満足度

- ・4学年合計で73.7%の学生が満足であると回答しており、昨年度の83.3%より9.6ポイント減少していた。
- ・学年別では、4年生の満足度は83.7%と最も高く、(1)の入学当時の満足度より20.4ポイント上昇していた。同様に3年生も入学当時の満足度より7.6ポイント上昇し、60.4%であった。1,2年生は入学当時の満足度より2ポイント程度減少していた。

II. 支援体制に関する満足度

- ・4学年合計で満足度80%未満の項目は、低いものから順に、課外活動（54.1%）、ネット環境の整備（70.8%）、研究（75.1%）、就職・キャリア支援（76.6%）であった。中でも、課外活動は昨年度の満足度76.6%から22.5ポイント減少しており、すべての学年において昨年度より満足度が減少していた。

昨年度は1)学修支援、3)大学生活支援、6)国家試験対策、7)アドバイザーによる支援、8)保健室・健康支
・自由記載欄では、10)のネット環境(WI-FI・パソコン)の整備に関する支援についての記載が最も多く、
ネット環境が悪いことに対する記載がほとんどで、パソコン(情報処理室のパソコンか学生のパソコンかは不
明)の動きが遅いとの記載があった。

III. 各施設・設備の満足度

・4学年合計で満足度が90%以上の項目は高い順に、実習室(94.3%)、ラウンジ(90.0%)であった。昨年
は、満足度が90%以上の項目は高い順に、実習室(98.6%)、ラウンジ(94.3%)、駐車場・駐輪場
(93.3%)、トイレ(92.8%)であった。また、昨年度は満足度が80%未満の項目はなかったが、今年度は更衣
室(73.3%)が該当した。

・昨年と比べて満足度が高くなった項目はなく、10ポイント以上満足度が下がった項目は更衣室(15.6ポイント
減)、駐車場・駐輪場(10.0ポイント減)であった。

IV. 学生生活に関する実態調査

1) 通学について

・通学時間は、上位から順に30分未満(41.1%)、30分以上1時間未満(27.3%)、1時間～1時間半
(19.6%)であり、2時間以上かけて通学する割合は5.3%(11人)であった。
・通学方法は、上位から順に自家用車122人、バスが95人、徒歩が31人、電車が30人、自転車12人であった。

2) 奨学金の受給 ※複数回答可

・4学年合計で受給者は69.4%(145人)で、昨年の64.4%(130人)より微増であった。しかし、受給元の延
べ合計は205件と、昨年度の138件より67件増加している。また、3つ以上受給している学生は12人であった。

・受給元は、上位から順に日本学生支援機構が104人、病院等の医療施設が49人、新潟県看護職員修学資金
が36人、市が6人、長岡医療と福祉の里が5人、その他5人であった。

3) 学習習慣について

・学習時間は、上位から順に1時間～1時間半(35.9%)、30分未満(18.2%)、30分～1時間(16.7%)、
1時間半～2時間(14.4%)であった。
・上位から順に提出期限厳守(179人)、授業をよく聞く(124人)、インターネットで調べる(117人)であ
った。

4) 図書館の利用状況

・1年生と4年生は月1～3回の利用、2年生は試験期間のみ、3年生は実習期間のみの利用が最多であった。

5) アルバイトについて

・4学年合計で142人(67.9%)の学生がアルバイトをしていた。
・職種は、上位から順に飲食店、小売販売業、その他であった。
・1週間あたりの平均労働時間は、上位から順に10～20時間(46.2%)、5～10時間(24.1%)、20～30時間
(15.9%)、5時間未満(12.4%)で、30時間以上働く学生はいなかった。

6) サークル活動

・サークル活動をしている学生は62人(29.7%)で、昨年度の74人(35.7%)より減少した。

・参加していない理由は、上位から順に、入りたいサークルがない（30.5%）、アルバイト優先（23.7%）、予習復習優先（15.3%）、無回答（14.5%）であった。

V. 学生自身に関すること

1) 学年別アンケート回答数

・1年生の回答率が最も高く、3年生の回答率が最も低かった。

2) 住居

・自宅（52.2%）が最も多く、アパート生活（45.0%）であった。

・家賃は、4万円未満（38.9%）が最多で、4～4.5万円（17.9%）、4.5～5万円（11.6%）、5～5.5万円（11.6%）、5.5～6万円（5.3%）、6～6.5万円（5.3%）、7万円以上（7.4%）であった。昨年度は、4万円未満（32.9%）、4～5万円（41.4%）、5～6万円（18.6%）、7万円以上（2.8%）であった。

3) 睡眠時間

・6時間台（38.8%）が最多で、5時間台（26.8%）、7時間台（15.3%）、5時間未満（14.8%）であった。

4) 食事摂取状況

・3食食べている学生は、1年生（58.5%）、2年生（65.2%）、3年生（69.2%）、4年生（63.3%）であった。

・朝食を食べない学生が32.2%であった。

5) 不安や悩みについて

・“相当ある”と答えた学生の割合は15.8%で、昨年の4.8%より11.0ポイント増加していた。“ややある”と答えた学生は39.2%と昨年の48.7%より9.5ポイント減少した。“相当ある”、“ややある”と答えた学生の合計は55.0%で、昨年の57.1%より2.1ポイント減少した。

・悩みの内容は、上位から順に勉学（36.0%）、就職・進路（25.9%）、経済状況（11.9%）、対人関係（9.3%）、自分の体調・健康（8.7%）、家族の体調・健康（3.8%）、家庭環境（3.2%）、その他（1.2%）であり、昨年と大きく変わりはなかった。

・相談相手は、上位から順に、父・母が126人、学内先輩・友人105人、学外の友人・先輩が84人、兄弟・姉妹が38人、恋人が31人、大学教員が18人、学生相談室が7人であった。

6) 卒後の進路希望（複数回答）

・進学希望は、助産コースが12名、大学院が3名であった。

・就職希望先は上位から順に、病院勤務178人（65.7%）、保健所31人（11.4%）、市役所18人（6.6%）、施設15人（5.5%）、学校14人（5.2%）、企業8人（3.0%）であった。